

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">比較図書館論</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部コミ3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">塩見 昇</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">地域特性と図書館のあり方</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>急激な社会変化の下で、公立図書館のあり方が問われている。この講義では、地域の特性により図書館の経営や活動にどのような違いが見られるかを、「比較」という手法を軸に考察し、現代社会と図書館のあり方を学習する。前期2 コマ続きの変則授業となるが、その特徴を生かしたゼミ形式の発表授業とする。フィールドワークも考える。</p>		
<p>評価方法</p> <p>そんなに受講生が多い授業ではないはずなので、普段の授業への参加、授業中の発表や討論への参加を主に評価を行う。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">授業の中で指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">授業の中で指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに この授業へのオリエンテーション</li> <li>2. 図書館情報学学習の手引き</li> <li>3. 公立図書館をめぐる現況と現代的課題 (1)</li> <li>4. (2)</li> <li>5. (3)</li> <li>6. 図書館学習における「比較」という手法 (1)</li> <li>7. (2)</li> <li>8. 図書館の地域特性 (1)</li> <li>9. (2)</li> <li>10. 比較のための基礎資料、データの読み方 (1) 『日本の図書館』のデータ (1)</li> <li>11. (2) (2)</li> <li>12. (3) 図書館の事業報告、統計資料.</li> <li>13. (4) 図書館の行政制度</li> <li>14. 大阪の図書館 比較研究 (1) 資料、データの読み込み</li> <li>15. (2)</li> <li>16. (3)</li> <li>17. (4)</li> <li>18. (5) 見学、フィールドワーク</li> <li>19. (6)</li> <li>20. (7) レポートの作成、討論</li> <li>21. (8)</li> <li>22. (9)</li> <li>23. (10)</li> <li>24. 日本の図書館と外国の図書館 (1)</li> <li>25. (2)</li> <li>26. (3)</li> <li>27. 学習成果の発表と討論 (1)</li> <li>28. (2)</li> <li>29. (3)</li> <li>30. 全体のまとめと評価</li> </ol>		